



2019年3月期 第1四半期  
**決算概要**

2018年8月9日  
日揮株式会社

財務部長の田口です。

これから、2019年3月期第1四半期の決算概要についてご説明致します。

## Agenda



1. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
2. セグメント情報
3. 連結貸借対照表
4. 受注の状況
5. 業績の見通し

## 1. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.6~7)



【億円】

	2017/6	2018/6	前年同期比	通期予想
売上高	1,530	<b>1,461</b>	△ 68	7,000
売上総利益	115	<b>109</b>	△ 5	450
利益率	7.5%	<b>7.5%</b>	△ 0.0pt	6.4%
営業利益	62	<b>55</b>	△ 6	230
経常利益	90	<b>86</b>	△ 3	290
親会社株主に帰属する 四半期純利益	55	<b>26</b>	△ 29	100
四半期純利益	56	<b>27</b>	△ 29	
その他の包括利益	3	△ <b>26</b>	△ 30	
四半期包括利益	60	<b>0</b>	△ 59	

3

最初に連結損益計算書及び連結包括利益計算書です。

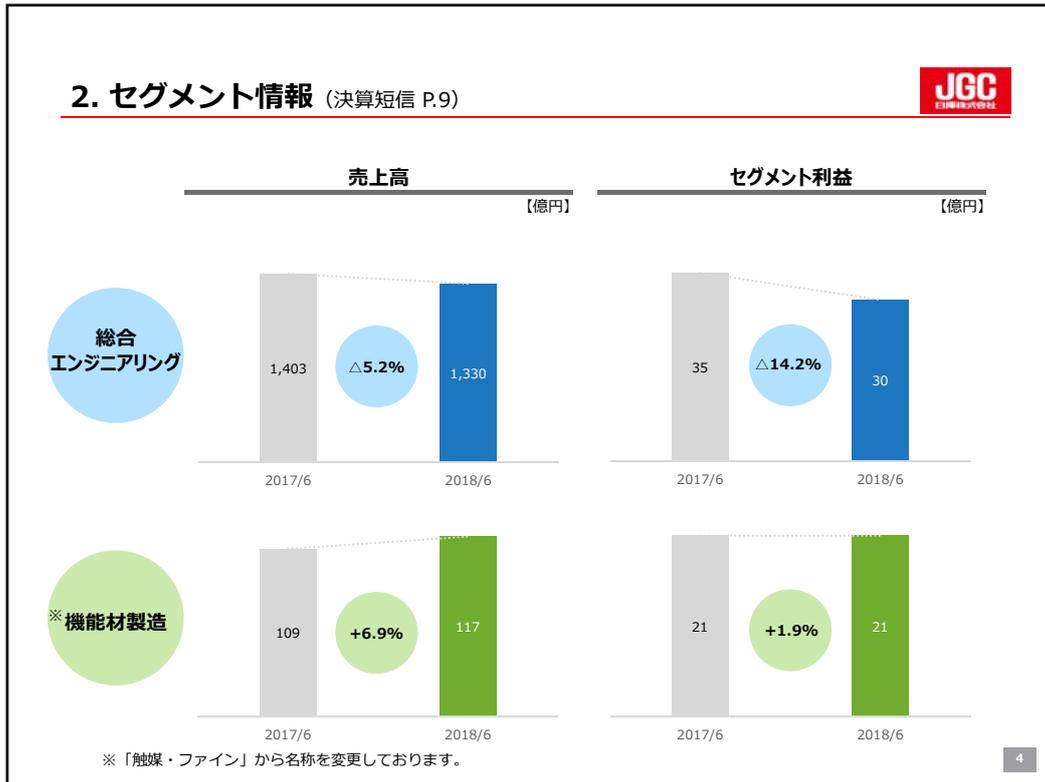
2018年6月期(2019年3月期第1四半期)の売上高は、1,461億円と前年同期比で若干の減収となりました。

減収に伴い利益項目は減益となっており、売上総利益は109億円、営業利益は55億円、経常利益は86億円です。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税費用増加が見込まれ実効税率が上昇する影響により、前年同期比29億円減の26億円となりました。

5月発表の通期業績予想に対する進捗は、売上高で21%と若干低めとなりましたが、利益項目についてはそれぞれ25~30%となっており、順調なスタートとなりました。

## 2. セグメント情報 (決算短信 P.9)



次にセグメント情報です。

報告セグメントは2つです。

総合エンジニアリング事業は、売上高が1,330億円、セグメント利益が30億円と、前年同期比で若干の減収減益となりました。主に受注残高の減少に伴うものです。

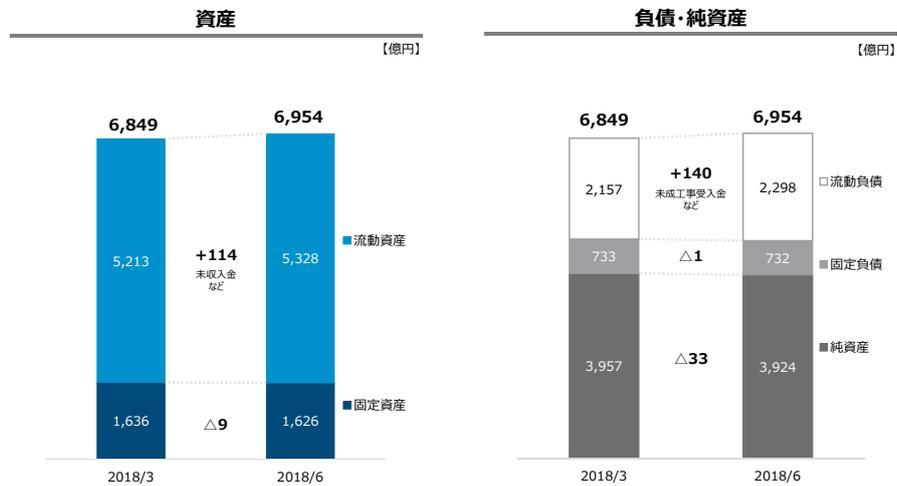
機能材製造事業は、水素化触媒をはじめとする各種触媒のほか、半導体関連材料や研磨剤といった分野の業績が好調に推移し、増収増益となりました。

売上高が117億円、セグメント利益が21億円です。

この機能材製造事業のセグメント名称は、今期から変更しております。

前期までは触媒・ファイン事業としていましたが、より適切に事業内容を表すよう名称を変更したもので、セグメント情報に与える影響はありません。

### 3. 連結貸借対照表 (決算短信 P.4~5)



次に連結貸借対照表ですが、前年度末と比べて財政状態に大きな変化はありません。

総資産は前年度末比ほぼ横ばいの6,954億円です。

純資産は、配当金支払(▲63億円)、四半期純利益(+26億円)などのネットで33億円減少の3,924億円。

自己資本比率は56.3%(前年度末57.6%)となっています。

#### 4. 受注の状況 (決算短信 P.10)



##### i) 当期受注高の状況

【億円】

	第1四半期実績	通期予想
海外	538	8,500
国内	259	1,500
合計	797	10,000

6

次に受注の状況です。

当期は、5月にカナダの大型 LNGプラント建設プロジェクトを受注しました。

ただし、受注金額の計上は顧客の投資決定を待って行うこととしておりますので、第1四半期実績には含まれておりません。

第1四半期の受注高実績は海外538億円、国内259億円の合計797億円となりました。

内訳は、海外では遂行中案件の追加、石油化学関連設備、国内では病院などとなっています。

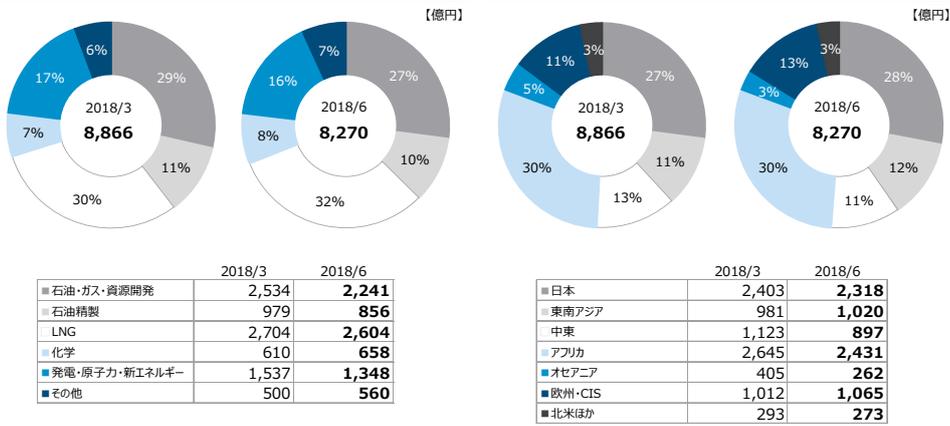
第1四半期末の後、7月以降の状況を見ると、足元で1千億円台半ばの目途がついている状況です。

通期予想の受注高1兆円に比べて僅少にとどまっていますが、カナダLNG案件の投資決定をはじめ、大型案件の受注は年度後半に集中すると予想しております。

## ii) 受注残高

分野別

地域別



2018/6 主要案件	1,000億円以上	500億円以上	300億円以上
	ヤマルLNG (ロシア)	FLNG (モザンビーク) ガス昇圧設備 (アルジェリア)	原油集積・処理 (アルジェリア) 石油精製 (クウェート) メガソーラー (岡山) 等

次に受注残高です。

2018年6月末の受注残高は8,270億円と前期末に比べて596億円の減少となりました。

分野別、地域別の構成はほとんど変わりありません。

分野別ではLNG関連が32%、石油・ガス・資源開発関連が27%となっています。

地域別ではアフリカが30%、日本が28%となっています。

## 5. 2018年度の業績見通し



通期の業績予想に変更はありません。

【億円】

	通期予想
売上高	7,000
売上総利益	450
利益率	6.4%
営業利益	230
経常利益	290
親会社株主に帰属する 当期純利益	100
受注高	10,000
配当金	12.0円
予想レート (米ドル)	108円

8

最後に通期の業績見通しです。

今年度の業績見通しは、5月発表のものから変更ありません。

本業績予想に使用した為替レートは、1ドル108円です。

あくまでも参考ですが、為替レート1円当たりの影響額は、売上高で30億円、粗利益で6億円、経常利益で8億円程度を見込んでいます。

2019年3月期第1四半期の決算概要の説明は以上です。

# 参考資料

## 参考（地域別売上高、受注高）



売上高				受注高					
	2017/06		2018/06			2017/06		2018/06	
	【億円】								
日本	281	(18.4%)	<b>420</b>	(28.7%)	日本	479	(18.1%)	<b>259</b>	(32.5%)
東南アジア	200	(13.1%)	<b>115</b>	(7.9%)	東南アジア	41	(1.6%)	<b>164</b>	(20.6%)
オセアニア	353	(23.1%)	<b>252</b>	(17.3%)	オセアニア	172	(6.5%)	<b>105</b>	(13.2%)
アフリカ	47	(3.1%)	<b>258</b>	(17.7%)	アフリカ	1,788	(67.4%)	<b>19</b>	(2.5%)
中東	316	(20.7%)	<b>228</b>	(15.6%)	中東	145	(5.5%)	<b>4</b>	(0.6%)
欧州・CIS	183	(12.0%)	<b>116</b>	(8.0%)	欧州・CIS	7	(0.3%)	<b>219</b>	(27.5%)
北米ほか	148	(9.6%)	<b>70</b>	(4.8%)	北米ほか	19	(0.6%)	<b>25</b>	(3.1%)
合計	1,530	(100.0%)	<b>1,461</b>	(100.0%)	合計	2,655	(100.0%)	<b>797</b>	(100.0%)

## 参考（業績推移-通期）

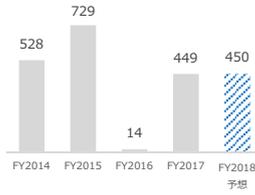


【億円】

### 売上高



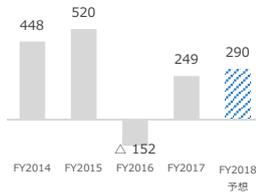
### 売上総利益



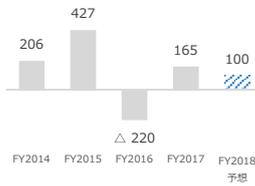
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する 当期純利益



### 受注高



## 将来の見通しに関するご注意事項



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

<本資料に関するお問い合わせ先>  
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部  
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.com